

## 指定保育士養成施設計画書【新規指定の場合】

設置者 〔法人の場合は 名称、所在地〕	氏名	学校法人〇〇		
	住所	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 012-345-6789)		
名称(注1)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科			
位置	千葉県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 043-223-2317)			
設置年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
学校又は施設の長の氏名	〇〇 〇〇	事務担当者氏名	〇〇 〇〇	
修業年限及び定員	修業年限	2年		
	入学定員	50名		
	編入学定員(2年次)	10名		
	学生定員	110名		
専任教員 教員の氏名・担当科目・専任兼任の別(注2)	氏名	担当科目		頁番号
	〇〇 〇〇	保育原理		1
	・	・		・
	・	・		・
	・	・		・
その他の教員 (兼任)	△△ △△	保育の心理学Ⅰ、保育の心理学Ⅱ		8
	・	・		・
	・	・		・
	・	・		・

(注1) 名称は、指定を受けようとする学部・学科名等最小単位まで正確に記載すること。

(注2) 頁番号は、教員調書の右上に記載されている「No.\_\_\_\_\_」と同じ番号を記入すること。

別紙ア

## 施設長就任承諾書

年 月 日

申請者名 \_\_\_\_\_ 殿

氏名 (署名)

私は、〇〇大学〇〇学部〇〇学科が指定保育士養成施設として指定を受けた際には、当該指定保育士養成施設の施設の長に就任することを承諾します。

就任期日

年 月 日

# 教 員 調 書

No. \_\_\_\_\_

養成施設名				
氏 名		性 別	男 ・ 女	
生 年 月 日		年 齢	歳	
担当予定科目		専兼の別	専 任 ・ 兼 任	
教 員 資 格 要 件	指 定 基 準 該 当 番 号			
	学 歴	年 月	事 項	
	教 育 歴 ・ 職 歴	名 称	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容	年 月
	資 格 ・ 免 許 ・ 学 位	名 称	取 得 機 関	取 得 年 月 日
担当予定科目に関する主な研究 発表又は論文、 その他業績		名 称	年 月	

(注) 各教員ごとに作成すること。

(記入例)

別紙2

# 教 員 調 書

No. \_\_\_\_\_

養成施設名	〇〇短期大学〇〇学部〇〇学科		
氏名	〇〇 〇〇	性別	男 ・ 女
生年月日	昭和**年**月**日	年齢	**歳
担当予定科目	保育原理	専兼の別	専任 ・ 兼任
教 員 資 格 要 件	指定基準該当番号		4 - (2) - イ - (ア)
	学 歴	年 月	事 項
		昭和〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学
		昭和〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業
		昭和〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇学専攻 修士課程入学
		昭和〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇学専攻 修士課程修了
教 育 歴 ・ 職 歴	名 称	教育内容又は業務内容	年 月
	〇〇専門学校 〇〇科	専任講師(保育原理、教育原理)	昭和〇〇年〇月～ 平成〇〇年〇月 (〇〇年〇月)
	〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	非常勤講師(保育者論)	平成〇〇年〇月～ 平成〇〇年〇月 (〇〇年〇月)
	〇〇短期大学 〇〇学科	准教授(保育原理)	平成〇〇年〇月～ 平成〇〇年〇月 (〇〇年〇月)
資 格 ・ 免 許 ・ 学 位	名 称	取 得 機 関	取得年月日
	〇〇学修士	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇学専攻	昭和〇〇年〇月〇日
	〇〇学学士	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	昭和〇〇年〇月〇日
	保育士資格	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	昭和〇〇年〇月〇日
	幼稚園教諭一種免許	同上	昭和〇〇年〇月〇日
担当予定科目に 関する主な研究 発表又は論文、 その他業績	名 称		年 月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇に関する研究」(論文)</li> <li>・「障害児の指導の在り方」(著書)</li> </ul>		平成〇〇年〇月 平成〇〇年〇月

(注) 各教員ごとに作成すること。

# 就 任 承 諾 書

年 月 日

申 請 者 名 殿

氏名 ○○ ○○

私は、○○大学○○学部○○学科が指定保育士養成施設として指定を受けた際には、当該学科において、下記科目を担当する(専任又は兼任の別) 教員として就任することを承諾します。

## 記

1. 担当科目 ○○論、○○論、・・・
2. 就任期日 年 月 日

## 学則に関する注意事項

学則の主な項目	留意点
1 設置目的	
2 名称	・学科、専攻、コース名まで明記すること。
3 位置	・養成施設の所在地を明記すること。
4 修業年限	・昼間部、昼夜開講制は2年以上 ・夜間部、昼間定時制部、通信教育部は3年以上
5 修業教科目単位数及び履修方法	△「児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法」（平成13年厚生労働省告示第198号）に掲げる教科目・単位数及び履修方法を明記すること。 ・通信課程については通信地域を明記すること。
6 学生定員	・学生の定員は原則100人以上であること。
7 入所資格	・学校教育法による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 ・指定保育士養成施設の指定を受けようとする学校が大学である場合における当該大学が学校教育法第90条第2項の規定により当該大学に入学させた者 ・通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者も含む。） ・文部科学大臣において上記の3つと同等以上の資格を有すると認定した者
8 単位の算定方法	・短期大学設置基準に定める単位の算定方法によること。
9 学年、学期及び休業日に関する事項	・日曜・祝日、夏季・冬季休業、創立記念日等を明記すること。 ・学期の開始及び終了日を明記すること。
10 部科及び課程の組織に関する事項	・内容を明記すること。
11 授業日時数に関する事項	・単位の算定方法を踏まえた日数及び時間数を明記すること。
12 学習の評価に関する事項	・履修の認定方法を明記すること。 △追試験及び再試験の方法を明記すること。
13 職員組織に関する事項	・内容を明記すること。
14 退学、転学、休学及び卒業に関する事項	・内容を明記すること。
15 授業料、入学料、その他の費用徴収に関する事項	・内容を明記すること。 ・周辺地域とのバランス等を勘案し、適当な金額とすること。
16 賞罰に関する事項	・内容を明記すること。
17 寄宿舎に関する事項	・内容を明記すること。

注 △印については細則等での明記も可。

教科目名称読み替え表

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備 考 (変更内容の概要等)
系列	教科目	授業 形態	単位数	左に対応して開設されて いる教科目	授業 形態	単 位 数			
						必修	選択	計	
教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	不問	6以上						
		外国語	演習	2以上					
		体 育	講義	1					
			実技	1					
合 計		10単位以上		____単位 (≥ 10単位)					

(注) 1 告示等に定める教科目のうち、2科目以上を合わせて1科目として開設している場合における単位数欄の記入方法は以下の通りとする。  
 例えば、「児童福祉論Ⅰ(1単位)」と「児童福祉論Ⅱ(1単位)」を合わせて「児童家庭福祉(2単位)」として開設している場合  
 ↓  
 「児童福祉論Ⅰ」と「児童福祉論Ⅱ」の単位数欄にそれぞれ「1/2」と記入  
 2 その他、告示と異なった学校独自の取扱いをしている場合には、備考欄にその内容を記入すること。

## 教科目名称読み替え表

告示別表第1による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考 (変更内容の概要等)	
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2							
	教育原理	講義	2							
	児童家庭福祉	講義	2							
	社会福祉	講義	2							
	相談援助	演習	1							
	社会的養護	講義	2							
	保育者論	講義	2							
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	講義	2							
	保育の心理学Ⅱ	演習	1							
	子どもの保健Ⅰ	講義	4							
	子どもの保健Ⅱ	演習	1							
	子どもの食と栄養	演習	2							
	家庭支援論	講義	2							
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	講義	2							
	保育内容総論	演習	1							
	保育内容演習	演習	5							
	乳児保育	演習	2							
	障害児保育	演習	2							
	社会的養護内容	演習	1							
	保育相談支援	演習	1							
保育の表現技術	演習	4								
実保育	保育実習Ⅰ	実習	4							
	保育実習指導Ⅰ	演習	2							
演習総合	保育実践演習	演習	2							
合計		51単位					_____単位 (≧51単位)			

(注) 1 告示等に定める教科目のうち、2科目以上を合わせて1科目として開設している場合における単位数欄の記入方法は以下の通りとする。  
例えば、「児童福祉論Ⅰ(1単位)」と「児童福祉論Ⅱ(1単位)」を合わせて「児童家庭福祉(2単位)」として開設している場合

↓

「児童福祉論Ⅰ」と「児童福祉論Ⅱ」の単位数欄にそれぞれ「1/2」と記入

2 その他、告示と異なった学校独自の取扱いをしている場合には、備考欄にその内容を記入すること。



教科目名称読み替え表

告示別表第2による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備 考 (変更内容の概要等)
系列	教科目	授業 形態	単位数	左に対応して開設されて いる教科目	授業 形態	単 位 数			
						必修	選択	計	
保 育 の 本 質 ・ 目 目	各指定保育士養成施設 において設定	不問	15以上						
保 育 の 対 象 の 科 目 理									
保 育 の 内 容 ・ 方 法									
保 育 実 習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2						
	保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1						
合 計			18単位以上						____単位 (≧18単位)

- (注) 1 告示等に定める教科目のうち、2科目以上を合わせて1科目として開設している場合における単位数欄の記入方法は以下の通りとする。  
 例えば、「児童福祉論Ⅰ(1単位)」と「児童福祉論Ⅱ(1単位)」を合わせて「児童家庭福祉(2単位)」として開設している場合  
 ↓  
 「児童福祉論Ⅰ」と「児童福祉論Ⅱ」の単位数欄にそれぞれ「1/2」と記入
- 2 その他、告示と異なった学校独自の取扱いをしている場合には、備考欄にその内容を記入すること。

	当該養成施設における教科の開設状況等				備 考 (変更内容の概要等)
	左に対応して開設されている 教科目	授業 形態	単 位 数		
			必修	選択	
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の 科目として開設されている教科目					
合 計					

## 【設置単位数】

教科目の種別	設置単位数	単位数（新）			備 考 (変更内容の概要等)
		必修	選択	計	
教 養 科 目	10 単位以上				
告示別表第1による 教科目	51 単位以上				
告示別表第2による 教科目	18 単位以上				
小 計					
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の 科目として開設されている教科目					
合 計					
卒業に必要な単位数					

## 【保育士資格取得に必要な履修単位数】

教科目の種別	保育士資格取得に必 要な履修単位数	単位数（新）			備 考 (変更内容の概要等)
		必修	選択	計	
教 養 科 目	8 単位以上				
告示別表第1による 教科目	51 単位以上				
告示別表第2による 教科目	9 単位以上				
計					

※保育士資格取得に必要な修業教科目及び単位数並びに履修方法に関する事項について、その内容が確認できる根拠規程（学則・細則等）を添付すること。

## 授 業 概 要 (半期の場合の様式例)

授業のタイトル (科目名) (告示等による教科目名) ( )		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択
[授業の目的・ねらい]			
[授業全体の内容の概要]			
[授業修了時の達成課題 (到達目標) ]			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数			
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
1 0			
1 1			
1 2			
1 3			
1 4			
1 5			
[使用テキスト・参考文献]		[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など)	





実 習 施 設 一 覧

実習の区分： 保育実習 I

整理番号	法令に定める施設種別	施設名	所在地	設置年月日	入所定員	実習人員	備考
1	保育所	〇〇保育園	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	昭和50年12月10日	150人	20人	
2	乳児院	〇〇乳児院	〇〇県〇〇市〇〇4-5-6	平成2年3月4日	10人	5人	
3	児童養護施設	児童養護施設〇〇園	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9	平成23年3月23日	20人	10人	
	合計	3か所			0人	0人	

# 実習施設承諾書

年 月 日

申請者名 殿

設置者（法人） 社会福祉法人 ○○○会  
所在地 ○○県○○市○○1-2-3  
代表者名 理事長 ○○ ○○

下記施設は、○○大学○○学部○○学科が指定保育士養成施設として指定された際には、実習施設として実習生を受け入れることを承諾いたします。

記

施設種別は、法令の規定に基づく名称を正確に記載すること。

1 施設種別	保育所
2 施設名	○○保育園
3 定員	○名
4 実習生の受入開始時期	○年○月より
5 実習受入可能時期	○月○日～○月○日
6 実習指導者の人数	○名
7 実習受入人数	○名

当該実習施設における1日当たりの受入人数を記載のこと。

### 実習巡回指導計画表

○年次第○段階

○月○日～○月○日（○週間○日間）

※「○月の第1月曜日から2週間 計10日」という記入でも可

実習施設名	人数	○月○日 (月)	○月○日 (火)	○月○日 (水)	○月○日 (木)	○月○日 (金)	○月○日 (土)	○月○日 (日)	○月○日 (月)	○月○日 (金)
○○保育園	2人		A		A		休み	休み		
△△保育園	2人	B			B		休み	休み	B	
□□保育園	3人		A		A		休み	休み		
☆☆保育園	1人	B			B		休み	休み	B	
○○認定こども園	3人			B		B	休み	休み		B
△△認定こども園	4人		C			C	休み	休み		C
○○乳児院	1人		C			C	休み	休み		C
児童養護施設○○園	1人	B			B		休み	休み	B	
以下続く										
※種別ごとに施設を まとめること。										

～

巡回教員 A…○○ B…△△ C…□□ （アルファベットに対応した教員の実名を記入すること）

※学年ごと、実習を実施する期間ごとに作成すること。

※「人数」欄には、予定の学生数を記入すること。



校舎の各室の用途及び面積等

土地面積	階数	名称	用途	面積	共用先	図面对应番号
計						
	m <sup>2</sup>					
建物延面積						
	計					
m <sup>2</sup>						

注1 「用途」欄には、少なくとも次に掲げる各室を記載すること。  
 (ア) 教室（講義室、演習室、実験室、実習室等とする。）  
 (イ) 所長室、会議室、事務室、研究室  
 (ウ) 図書室、保健室  
 このほか、学生自習室、クラブ室、更衣室を設けることが望ましいこと。

注2 他の学科等と共用の部屋は、「共用先」欄に「〇〇学科と共用」と記載すること。

別紙ウ

備 品 一 覧

階 数	設 置 場 所	備 品	数 量	備 考

他の学科等と共用の備品は、備考欄に「〇〇学科と共用」と記載すること。



